

## 8. 愛知県予防接種センター

事業	内 容
接種要注意者等に対する予防接種の実施	あいち小児保健医療総合センター予防接種センター設置要領（H13.11.1）に基づき、接種要注意者等に対する予防接種を総合診療科で実施（H14年3月末日までに75件実施） （資料8-1） 現在、大府市、西春町、一宮町と接種要注意者等に対する定期接種の委託契約を締結
教育研修	保健所・市町村の予防接種担当職員等を対象にした研修会を実施 平成13年度予防接種研修会（H13.11.14） 講演「基礎疾患のある児の予防接種の留意点」 講師 名鉄病院予防接種センター部長 宮津光伸 （資料8-2）
保健医療相談	予防接種の事前事後における保健医療相談を実施。H14年3月末日までに118件の相談があった。相談内容としては、接種時期や方法についての相談が最も多く、海外渡航時の予防接種に関する相談がそれに続いている。一般の住民のみならず、市町村保健センターの予防接種担当者など専門家からの相談も多く寄せられた。（資料8-3）
情報収集・提供	接種要注意者に対する県内医療機関情報集を作成。（県内各医療機関430箇所、保健機関130箇所に配布し有効利用を図った）
予防接種センター調査検討委員会の実施	（1）予防接種事業の課題検討を行い、予防接種センターの効果的な運営を図るため、学識経験者、予防接種実施医療機関、医師会、行政関係者を委員とする調査検討委員会を設置。（H14.2.1に委員会開催） （資料8-4） （2）調査検討委員会に研究部会を実施（H14.3.7）
調査研究	接種要注意者に対する県内医療機関における対応の実態調査を実施

### 事業企画担当者の総括

#### 1. 有用性の検討

接種困難者に対する予防接種及び海外渡航者への予防接種の実施件数は2月末現在33件とまだ少ない。

その内容は、狂犬病ワクチンやポリオワクチンなど、一般医療機関では対応困難なワクチンの利用率が高いと考えられた。電話や直接来所による相談利用件数は120件とセンター開設当初としては比較的多くの件数があり、しかも相談依頼者には地域の専門家（保健婦、医師等）が39件含まれており、専門家の相談体制の必要性が改めて示された。

#### 2. 実施上の問題点と解決方法

市町村との委託契約は平成14年3月時点では、3市町と少なく、当センターの事業内容が十分周知されていない可能性もあり、引き続き市町村との連携による周知が必要と考えられた。

#### 3. 次年度の事業展開

今年度実施した事業を継続して展開するとともに、情報の収集、提供、相談体制の充実につとめる。

ホームページの活用による情報提供にも取り組んでいく。

また、研究部会委員による具体的な研究活動に着手する。

## 予防接種の実施状況

	11月	12月	1月	2月	3月	計
三種混合				2		2
二種混合		1		1	2	4
破傷風トキソイド				1	3	4
日本脳炎						
ポリオ			1	4		5
麻疹				6		6
風疹						
ムンプス					4	4
水痘	1	2			4	7
BCG						
ツベルクリン反応						1
インフルエンザ	7	13	3	1		24
コレラ						
B型肝炎					3	3
A型肝炎			1	3	4	8
ジフテリアトキソイド						
ワイル病秋やみ混合						
狂犬病			2	3	2	7
肺炎球菌						
計	8	16	7	21	23	75

教育研修：保健所・市町村等の予防接種担当者等を対象とした研修会の開催とその評価（資料8-2）

研修内容 予防接種研修会 「基礎疾患のある児の予防接種の留意点」

実施日時	平成13年11月14日（水） 午後1時から午後4時30分
講師	名鉄病院予防接種センター 部長 宮津 光伸
講演主題	「基礎疾患のある児の予防接種の留意点」
参加者数	141名（保健所・市町村保健センター予防接種業務従事者、その他の母子保健相談に従事する専門職他）
講演内容の要旨	<p>1984年から名鉄病院で予防接種センターを開設。集団接種の漏れ者に対応してきた実績から、接種要注意者に対する具体的な対応方法を解説し、集団接種や地域の医療機関で個別接種が出来なくても、基礎疾患等への対策を講じれば接種可能であることを示す。 また、定期接種漏れ者を救うため、委託契約による広域的な接種体制整備の必要性を指摘。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子供がかかりやすい感染症とワクチン</li> <li>2. 感染症の流行状況 年長児の麻疹の流行、毎年周期的に流行する疾患、A群溶連菌感染症の増加、など</li> <li>3. 予防接種法改正の要旨</li> <li>4. 予防接種の目的 個人の疾患罹患防衛、社会的防衛（他者に感染させない）、次世代への障害防止（風疹）、病気はないが病原体が存在する疾患への対策、海外からの疾患の持ち込み及び日本からの持ち出しの防止他</li> <li>5. 予防接種センターの役割と必要性 接種相談の必要性、基礎疾患児・海外渡航への対応、副反応調査、抗体価測定等による有効性の検討、新しいワクチンへの対応、啓発など</li> <li>6. 接種要注意者の対応の実際 熱性けいれん児…発熱への対応で接種可。早くワクチン接種し感染症罹患を防ぐ必要あり。 厚生労働省研究班、小児神経学会が作成した接種基準の解説 アレルギー児…麻疹の卵アレルギーの皮内反応での対応 厚生労働省研究班、小児アレルギー学会が作成した基準の解説</li> <li>7. 抗体価検査時の留意点：各検査法の特徴、各疾患に適した検査法の選択例</li> <li>8. 定期接種スケジュールから外れた事例の接種間隔 スケジュールどおりに接種できなくても放置せず、接種を完了する必要性。</li> <li>9. 予防接種の副反応と副作用 当然起こり得る副反応の頻度と対策、保護者への啓発（自然感染のリスク）</li> <li>10. ツ反応判定とBCG接種の留意点</li> <li>11. 海外渡航時に推奨される予防接種</li> </ol>

研修内容 予防接種研修会 「基礎疾患のある児の予防接種の留意点」

研修者によるアンケート評価

アンケート回収数：106枚（回収率75%）

研 修 会 名	「基礎疾患のある児の予防接種の留意点」					
研修者の職種	保健福祉機関：保健師 56人、助産師 16人、看護師 13人、薬剤師 8人、 獣医師 1人、事務職員他 7人、不明 5人  計 93人					
研修者の年齢分布	20歳代：25人、30歳代：33人、40歳代：25人、50歳代：15人、 60歳代 1人、不明 7人					
研修者の性別	女性：100人 男性：6人					
アンケート質問項目		1 よい	2	3	4	5わるい 不明
	1. 研修全体のプログラムは？	28(26.5%)	43(40.6)	31(29.2)	1(0.9)	1(0.9) 2(1.9)
	2. 講義の内容はよく理解できましたか？ 1よく理解した 2理解した 3ほぼ理解した 4あまり理解できなかった 5理解できなかった	36(34.0)	49(46.2)	19(17.9)	2(1.9)	
	3. 視聴覚教材の使用は、講義内容の理解に役立ちましたか？	17(16.0)	41(38.8)	33(31.1)	12(11.3)	1(0.9) 1(0.9)
	4. 会場は研修会に適していましたか？	17(16.0)	26(24.5)	39(36.8)	20(18.9)	4(3.8)
	5. あいち小児保健医療総合センター予防接種センターの概要の説明はよくわかりましたか？	32(30.2)	34(32.1)	27(25.5)	3(2.8)	10(9.5)
<p>その他意見の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講義内容が非常に良かっただけに短時間での講義は講師も大変であったと思う。もう少し時間的ゆとりがほしかった。（2人）</li> <li>・ 資料は大変参考になる。今後有効活用したい。（4人）</li> <li>・ アトピー性皮膚炎など他の疾患児の留意点も聞きたかった。</li> <li>・ スライドの資料をできるだけ多く配布してほしい。内容が多く資料が少ない。（2人）</li> <li>・ 質疑応答はわかりやすく説明していただけ良かった。</li> <li>・ 質問を事前に集めておいて、講義の内容に入れてもらおうと良い。</li> <li>・ 地区医師会などを対象にした研修会もあると良い。</li> </ul>						

## 予防接種医療相談内容

平成13年11月～平成14年3月

大分類	中分類	小分類	件数	割合(%)
予防接種相談	L接種時期・方法	基礎疾患と予防接種	6	
		既往症と予防接種	6	
		疾患罹患と予防接種	2	
		妊娠と予防接種	4	
		接種スケジュール	13	
		接種期間超過	3	
		実施医療機関	17	
		その他	5	
		中計	56	46.8
		L副反応	ツ反・BCG	1
	ポリオ	2		
	三種混合(DPT)	2		
	二種混合	0		
	破傷風	0		
	ジフテリア	0		
	風疹	1		
	麻疹	0		
	ムンプス	0		
	水痘	0		
	インフルエンザ	1		
	コレラ	0		
	A型肝炎	0		
	B型肝炎	0		
	ワイル病	0		
	狂犬病	0		
	肺炎球菌	0		
	黄熱病	0		
	その他	0		
	中計	7	5.8	
	L効果	ツ反・BCG	0	
	ポリオ	1		
	三種混合(DPT)	1		
	二種混合	0		
	破傷風	0		
	ジフテリア	0		
	風疹	0		
	麻疹	1		
	ムンプス	0		
	水痘	0		
	インフルエンザ	1		
	コレラ	0		
	A型肝炎	0		
	B型肝炎	0		
	ワイル病	0		
	狂犬病	0		
	肺炎球菌	0		
	黄熱病	0		
その他	0			
中計	4	3.3		
L海外渡航	必要な予防接種・接種計画	19		
海外の予防接種制度	3			
保健医療事情	0			
予防接種実施機関	5			
その他	4			
中計	31	25.8		
Lその他	その他	22		
中計	22	18.3		
計		120	100.0	

## あいち小児保健医療総合センター調査検討委員会

実施日時	平成14年2月1日(金) 午後2時30分から午後4時
調査検討委員会研究部会	出席者 藤田保健衛生大学医学部教授 浅野喜造、愛知県健康福祉部主幹 岩田徹也、名古屋市健康福祉局健康増進課長 梅村三郎(結核感染症係長が代理出席)、厚生連昭和病院副院長 尾崎隆男、愛知県医師会理事 谷口正明(環境衛生委員会委員が代理出席) 名古屋大学医学部保健学科教授 森島恒雄、名鉄病院予防接種センター部長 宮津光伸、あいち保健小児医療総合センター長 長嶋正實 計9名 (名古屋市立大学医学部教授 戸苺 創委員欠席)
	議題 1. あいち小児保健医療総合センター予防接種センター(愛知県予防接種センター)の概要について 2. 予防接種センターの活動についての意見交換 (1) 医療相談事業の実施について (2) 研究部会での取り組みについて 3. その他
	討議内容 ・ 予防接種に関する基礎的な知識の啓蒙の必要性 ・ 基礎疾患を有する児の予防接種をセンターで実施すると共に、地域の開業医でも実施できるよう知識の普及を望む ・ 「予防接種実施状況アンケート」の実施の必要性が示唆され、県内の医療機関への調査を実施することを決定。 ・ 研究部会の設置について了解を得る ・ 接種率の経年的な実態調査を実施できると良い ・ 新興感染症対策委員会、感染症動向調査委員会等との連携の必要性

あいち小児保健医療総合センター調査検討委員会研究部会

実施日時	平成14年3月7日(木) 午後6時30分から午後7時45分
調査検討委員会研究部会	出席者 名鉄病院予防接種センター部長 宮津光伸、かわきた小児科 川北 章、ニコニコこどもクリニック 荻野高敏、名古屋掖済会病院小児科部長 西川和夫、花田こどもクリニック 花田直樹、愛知医科大学小児科講師 浜口典子、あいち小児保健医療総合センター保健センター保健室長 山崎嘉久 計7名 (片山こどもクリニック 片山道弘委員および佐々木こどもクリニック 佐々木邦明委員は欠席)
	議題 4. あいち小児保健医療総合センター調査検討委員会の概要について 5. 調査検討委員会研究部会の研究課題について 6. その他
	討議内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予防接種センター調査検討委員会の概要説明と、センターの活動内容説明</li> <li>・ 「予防接種実施状況アンケート」の概要説明</li> <li>・ 研究テーマ決定に関連した話題提供と各委員の予防接種実施状況の報告 接種要注意者に対するガイドラインの提示など</li> <li>・ 予防接種事業に従事する中で感じる問題点</li> <li>・ 研究テーマについては今後 e-mail による連絡等の手段を使い議論していくこととする。</li> </ul>